

今月の「授業紹介」

教科書でとりあげられている「場面」に
さらに広がりをもたせる！

川崎市立野川中学校 恩納真寿美先生が担任する3年6組の教室を見学。

教科書であつかった「道案内の場面」の復習と、さらなる理解促進を同時に！

授業概要

- ・直前の授業が体育だったことをいかして、How was the PE class? What did you do? などの問いかけからスタート。先生と生徒との短い会話による、生き生きとしたウォームアップを行った。
- ・前回授業で学んだ、電車を使った道案内の説明を復習。前回のプリントを見ながら、表現の確認をしっかり行った。

恩納先生から一言

教科書で取り上げられている道案内などの「場面」の会話は、たいてい一つだけなので、少し物足りない感じていました。

基礎英語 LEAD では、「場面」と「難易度（番組名）」で検索できるので、うれしいですね。

授業内使用スキット：「基礎英語 1 2014 年 1 月放送分」

<スキットの検索手順>

言語表現項目 → 場面 → 道案内 → Take the _ Line.

Yuri : Daisy! Where are you?

Daisy : I'm at a station.

Yuri : Which station?! Asakusa?

Daisy : No. The sign says... Aka... sa... ka... Mi...

Yuri : Akasaka-Mitsuke?!

Daisy : Yes! Akasaka-Mitsuke! Can I walk to Kaminari-mon from here?

Yuri : No, you can't. That's in Asakusa, not Akasaka. Take the Ginza Line.



「基礎英語 LEAD」を活用した授業の様子

● これから聞くスキットに登場する、Yuri と Daisy の世代・関係がわかるように、イラストをモニターに投影し、イメージ喚起。

生徒は質問を読みながら、「"Where"って、"どこ"だよな。」など、自発的な復習と確認をしていました。

● プリントを配布。表面には、スキット内容理解の補助となる、英文の質問。裏面には、同じスキットの会話文並べ替え問題を、復習として掲載。

スキットに出てくる、おばあちゃんの言い方や声色がおもしろかったらしく、生徒から笑い声が聞こえました。おばあちゃんらしい声なので、場面が想像しやすいようでした。

先生は、スキットを聞く合い間に、"Would you like to listen to it again?" と問いかけ、リスニングが苦手な生徒を励ましていました。

スキットを何回か繰り返し聞かせながら、

● 生徒はグループでスキット内容の相談をしたり、英文の質問に対する答えを確認し合ったりしました。

● 答えの確認は、手をあげた生徒に答えてもらい、英文の質問に対する答えは板書。会話の並べ替えは口頭で確認。

● 以上を終えたところで、今度は券売機をたずねる「続きのスキット」を聞かせて、同じように内容の確認をおこないました。

基礎英語 LEAD の機能のひとつ、「続きのスキットへ」を使って、連続した4つのスキットを、プリントに掲載していました。

授業後、先生にうかがいました！

● 基礎英語 LEAD を使ったときの、生徒の反応はいかがですか？

リスニング活動に取り組む姿勢がよくなりますね。声色がバラエティに富んでいるので、生徒もそれを楽しんでいるようです。

● どの様に、基礎英語 LEAD を活用していますか？

文法項目の導入としても使いますし、復習としても使っています。あとは、教科書に出てくる「場面」と同じような場面のスキットもよく使います。「文法」でも「場面」でもスキット検索ができるので、便利ですね。そういったスキットを自分で作るとなると、かなり大変ですから助かります。